



第 42 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム、  
マイクロ・ナノ工学シンポジウム、集積化 MEMS シンポジウム、  
化学とマイクロ・ナノシステム学会研究会と同時に  
宇都宮で 1,308 名の参加者を迎え、Future Technologies from UTSUNOMIYA 開催  
次回 第 43 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムは、  
2026 年 11 月 16 日（月）からくにびきメッセ（島根県松江市）で開催されます

第 42 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム  
（以下センサシンポジウム）は、2025 年 11 月 10 日（月）～13 日  
（木）、ライトキューブ宇都宮（栃木県）で開催されました。（テクニ  
カルセッション 11/10-12，テクニカルツアー-11/13）

Future Technologies(FT) from UTSUNOMIYA 合同シンポジウム  
実行委員長兼第 42 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シ  
ンポジウム実行委員長の年吉 洋氏（東京大学）は、「Future  
Technologies (FT) は、電気学会「センサ・マイクロマシンと応用  
システム」シンポジウム、日本機械学会マイクロ・ナノ工学シンポジ  
ウム、応用物理学会集積化 MEMS シンポジウム、化学とマイクロ・ナノシステム学会研究会の 4 シン

ポジウムを中心として、エレクトロニクス実装学会などが学協会の枠を超えて  
合同で開催されているもの。総発表件数が 740 件を超え、技術展示・スポン  
サー69 機関からのお申し込みをいただき、本シンポジウムが、学会および  
産学の枠を超えた議論をより一層活発に行える場となり、良い刺激を受けて  
ここ宇都宮の地から未来を担う技術の芽がはぐくまれることを期待しており  
ます。」と述べられました。

FT from UTSUNOMIYA では、一般の口頭発表・ポスター発表に加えて、  
基調講演，FT 合同招待セッション，フォトコンテスト，テクニカルツアーが



ライトキューブ宇都宮中ホール  
（メイン会場）



実行委員長  
年吉 洋氏

企画され、FT 合同若手企画では、「You は何しに博士（ドクター）へ？多様な視点で語る進路のホンネ」をテーマに、業界を牽引するプロフェッショナルによるトークセッションに続き、博士号取得数年後の若手研究者、博士課程の学生によるポスターセッションなどを通じて、多様なキャリアパスを共有し、分野横断的な交流と進路選択の理解を深められました。2 日目の会議後の合同懇親会では、宇都宮名物の餃子、焼きそば、とちおとめのイチゴパフェの屋台が出展し、400 名を超える参加者がカクテル、ジャズ音楽をはじめ地元ならではのおもてなしを楽しみながら、旧友との再会や新たな交流の輪を展開されました。好評のテクニカルツアーでは、栃木県内に製造拠点のある特色ある企業（本田技研工業、キヤノンメディカルシステムズ、宇都宮 LRT 基地局）への訪問が含まれ、受入先の特別の計らいもあり、学生さんを中心として参加者が貴重な体験をさせていただきました。



第 42 回センサシンポジウムでは、基調講演 1 件、エレクトロニクス実装学会による企画セッションを含むオーラル発表 79 件、ポスター発表 226 件と、合計 306 件の論文が発表されました。同時開催のマイクロ・ナノ工学シンポジウム（日本機械学会 マイクロ・ナノ工学部門主催）、集積化 MEMS シンポジウム（応用物理学会 集積化 MEMS 技術研究会主催）、化学とマイクロ・ナノシステム学会研究会と併せ、「Future Technologies(FT) from UTSUNOMIYA」と称され、FT 合同招待セッションや同若手企画セッションを含め、全体で講演数は 749 件、技術展示・スポンサー 69 機関からのご支援を得て、1,308 名の参加者を迎えました。

<b>第 42 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム &amp; Future Technologies from UTSUNOMIYA</b>	
<b>【発表件数】</b>	
・基調講演	1 件
・オーラル発表	79 件
・ポスター発表	226 件
-----	
センサシンポジウム合計	306 件
・マイクロ・ナノ工学シンポジウム (基調講演 1 件, 招待講演 4 件, ポスター 204 件)	200 件
・集積化 MEMS シンポジウム (基調講演 1 件, オーラル 18 件, ポスター 12 件)	25 件
・化学とマイクロ・ナノシステム学会 第 50 回研究会 (基調講演 1 件, 招待講演 4 件, ポスター 190 件)	205 件
・FT 招待講演 (FT 合同招待セッション, 若手企画)	11 件
-----	
<b>Future Technologies from UTSUNOMIYA 合計</b>	<b>749 件</b>
<b>【参加者数】</b>	<b>1,308 名</b>
<b>【技術展示・スポンサー機関】</b>	<b>69 機関</b>
出展者	60 機関 63 小間
出展者プレゼンテーション	40 機関
スポンサー	9 機関
<b>【懇親会参加】</b>	<b>420 名</b>
<b>【テクニカルツアー 2 種】</b>	<b>40 名</b>

## 電気学会 小野会長、宇都宮市佐藤市長を迎えての開会式

オープニングでは、112 代電気学会会長 小野 靖氏（東京大学）が、「電気学会のみならず各学会が人口減にいかに対応するかが急務となっており、多様性の確保もさることながら、FT のように学会間連携により大きな力を発揮し、関係人口を増やしていくという取り組みは注目に値する」と述べられました。

宇都宮市長 佐藤 栄一氏からは、「半導体やセンサ業界の研究開発拠点が集積



佐藤 栄一氏  
宇都宮市長

している宇都宮のポテンシャルを高く評価して頂き、今回のシンポジウムの開催となったことを 51 万人の市民を代表して歓迎したい。宇都宮はネットワーク型コンパクトシティを土台に、地域共生社会、地域経済循環社会、脱炭素社会と 3 つの社会を、人とデジタルによって発展を続ける街を目指している。今回のシンポジウムが、中でも地域経済循環社会において、様々な分野を超えた活発な議論によって未来社会の技術革新の方向性を示すこととなることを祈念している」と、ご来賓のご祝辞を賜りました。



小野 靖氏  
電気学会会長

## 夢を与えた 4 件の基調講演

基調講演には、「バイオインスパイアード DDS の設計とワクチン応用」京都大学 大学院医学研究科 特任教授 秋吉 一成 氏、「医学検査領域のマイクロ計測の応用」株式会社 日立ハイテク 常務執行役員 CTO ヘルスケア事業統括本部 統括本部長 坂詰 卓 氏、「ソフトウェアデファインド時代における、運転支援・自動運転とセンシング技術」本田技研工業株式会社 四輪事業本部 SDV 事業開発統括部 先進安全・知能化ソリューション開発部 エグゼクティブチーフエンジニア 波多野 邦道 氏、「チップレット集積技術最前線」東北大学 大学院医工学研究科・教授 兼 技術研究組合最先端半導体技術センター(LSTC) 3D パッケージング技術開発部門 部門長 福島 誉史 氏を迎え、集まった研究者・技術者・学生に今後の研究開発、事業、産官学連携に向けた大きな示唆や夢を頂きました。

センサシンポジウムの基調講演「ソフトウェアデファインド時代における、運転支援・自動運転とセンシング技術」をいただいた本田技研工業株式会社 波多野 邦道 氏は、同社の SDV 事業開発統括部のエグゼクティブチーフエンジニアとして、AD/ADAS 分野の技術を統括し、最先端要素技術の評価を担当するとともに、技術渉外責任者としてホンダの技術プレゼンス向上に取り組む第一人者で、基調講演では、自動車産業を取り巻くデジタル技術の進展に伴うデ



波多野 邦道 氏  
本田技研工業



秋吉 一成氏  
京都大学

ジタルトランスフォーメーション (DX) の潮流は、ソフトウェアデファインドビークル (SDV) という形でモビリティとソフトウェアの領域に急速な変化をもたらしているとされ、高度運転支援や自動運転、そしてセンシング技術に関する HONDA の取組みを紹介いただきました。

CHEMINAS 招聘の京都大学 秋吉 一成 氏は、「バイオインスパイアード DDS の設計とワクチン応用」と題した基調講演で、近年、疾患に関する診断、予防、治療、および再生医療において、ナノバイオ材料の開発が益々重要な

ってきていることを背景に、バイオ医薬品を安定に送達、徐放しえる DDS (Drug Delivery System) の開発状況、ならびに、生体分子システムを規範 (バイオインスパイアード) としたナノゲル工学、プロテオリポソーム工学、エクソソーム工学を駆使した、種々のバイオ医薬品の徐放制御や選択的輸送を行える機能性ナノ微粒子の創製とワクチンなどの医療応用に関する研究について解説を頂きました。

「医学検査領域のマイクロ計測の応用」と題した日本機械学会招聘の基調講演を行われた、株式会社 日立ハイテク 坂詰 卓氏は、電解質イオン、血糖、ホルモンなど、医学領域では、化学物質濃度の計測技術が大きく進展し、診断やモニタリングの精度向上に寄与しており、MEMS の研究成果は、特に DNA 分析の分野では飛躍的な進歩を遂げていると紹介されました。半導体製造技術の発展が低消費電力化や軽量化を加速し、ウェアラブル機器の実用化が実現しており、医療分野における MEMS 技術のさらなる応用と発展を期待したいと述べられました。



坂詰 卓氏  
日立ハイテク

応用物理学会集積化 MEMS 研究会招聘の東北大学 福島 誉史氏は、「チップレ



福島 誉史氏  
東北大学

ット集積技術最前線」と題した基調講演で、ウエハレベルパッケージングの発展とともに進化し、ダイシングされた良品チップをウエハ上に実装して集積化する Chip-to-Wafer 積層技術を基軸としてチップレット集積を牽引してきた先端半導体パッケージング技術について、キーテクノロジーとなっている TSV 形成やハイブリッド接合などの狭ピッチ接合を中心とした三次元集積技術の歴史的開発背景から最新の動向や展望を解説されました。

## FT 合同若手企画セッション 「Youは何しに博士(ドクター)へ？」

初日には、FT の 4 学会合同若手企画

「Youは何しに博士(ドクター)へ?~多様な視点で語る進路のホンネ~」が開催されました。博士課程進学や学位取得後のキャリアに関する率直な経験共有を目的として、産学のプロフェッショナル、若手研究者、および現役の博士課程学生が登壇され、トークセッション、ポスターセッションで参加者 100 名に及ぶ学生や若手研究者が活発な意見交換を行いました。



「プロフェッショナル」登壇者には、森本 雄矢氏 (早稲田大学)、木内 万里夫氏 (住友精密工業)、若手研究者登壇者として、平田 優介氏 (豊田中央研究所)、安永 竣氏 (東京大学)、李 婷玉氏 (東京大学)、そして博士学生登壇者は、藤田 祥子氏 (東京農工大学)、東 亮吾氏 (東京農工大学) をお迎えしました。



## 恒例の FT 主催 4 学会による FT 合同招待講演セッション

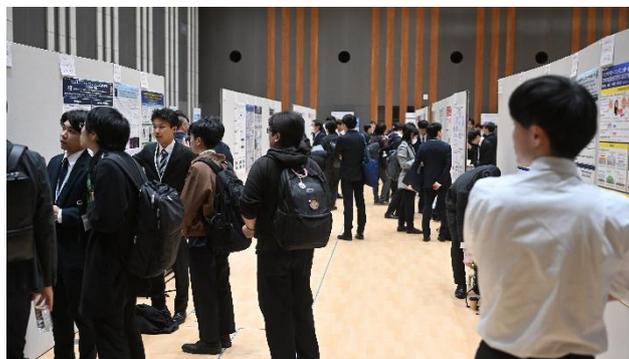
最終日には、学会間の交流を目的とした取り組みとして、Future Technologies に参画する 4 学会からそれぞれ第一線で活躍されている先生方で構成された FT 合同招待講演セッションが企画されました。

電気学会からは、豊橋技術科学大学 次世代半導体・センサ科学研究所 電気・電子情報工学系 教授 河野 剛士氏より、「脳とエレクトロニクスをつなぐーマイクロ・ナノデバイス技術の神経科学応用ー」の題目で講演がありました。日本機械学会からは、慶應義塾大学 理工学部システムデザイン工学科 専任講師 橋本 将明氏による「3D プリンティングが拓く熱駆動 MEMS アクチュエータの新展開」、化学とマイクロ・ナノシステム学会研究会からは、東京科学大学 生命理工学院 教授 安井 隆雄氏による「ナノワイヤ・ナノファイバによるリキッドバイオプシー革新への挑戦」、応用物理学会からは、東北大学 大学院工学研究科 准教授 猪股 直生氏による「微細加工デバイスで捉えるヒト・細胞の生体情報」の題目でそれぞれご講演いただきました。今回で 6 回目となる FT 4 学会の合同企画となり、大変好評でした。

## 白熱したポスターセッション会場での議論と技術展示会場

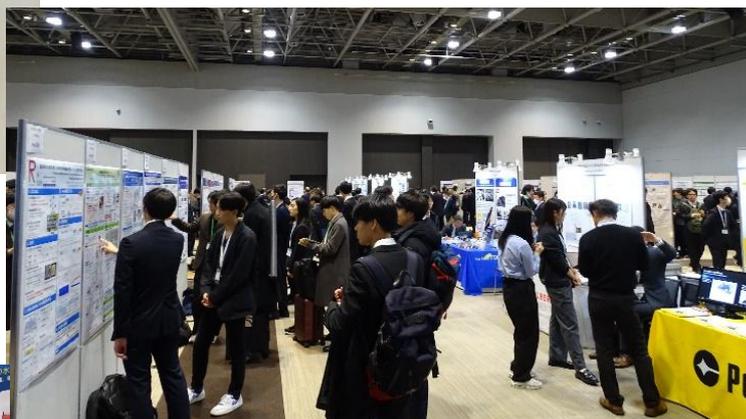
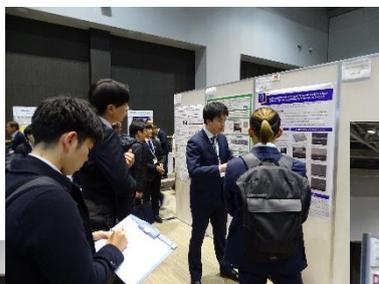
過去最高となる 632 件のポスター発表が 3 日間にわたって開催されました。

約 1,890 平米の会場に、2 部張替制で、ポスター発表がなされ、同じ会場の技術展示（参加 60 機関 63 ブース）、フォトコンテストと共に、ポスターの内容に熱心に意見交換が展開されていました。



ポスターと技術展示が一体化した会場

活発な議論が行われた  
ポスター会場



## 420 名にのぼる参加で開催された FT 合同懇親会

大会二日目の夜は、FT 合同懇親会が、ライトキューブ宇都宮のメイン会場で開催されました。メイン会場は、開会式、基調講演が行われた会場でしたが、ライトキューブ宇都宮および施設転換の関係者のご尽力により、短時間でメイン会場が模様替えされました。

電気学会のセンサ・マイクロマシン部門（E 部門）の発展に多大なる貢献をされて

2025 年ご逝去された兵庫県立大学教授 前中一介氏

立命館大学



小西 聡氏  
電気学会 E 部門長

「日本のジャズの聖地」、「ジャズとカクテルの街」と呼ばれる宇都宮に相応しくジャズバンド（鈴木芳博スペシャル Band）の演奏が流れる中、会場に溢れんばかりの参加者はお料理、地酒、ワインなど堪能されました。さらにお天気にも恵まれ、開放された野外の交流広場では、餃子、焼きそば、栃木のとちおとめいちごワッフルの屋台に満貫の笑みで宇都宮名物を召し上がりながら交流を深められました。

宇都宮観光コンベンション協会様からは、インターナショナル・ワイン・チャレンジ SAKE 部門（日本酒部門）で最高賞を受賞した、澤姫 吟醸 真・地酒宣言をはじめ、地酒が提供されました。

懇親会や企画イベントは、講演やポスターセッションや展示会と相俟って、学会の醍醐味ともいえ、こうした機会を活用して年令、分野、言語の違いを超えたネットワーキング構築が、参加者の資産になるともいえるでしょう。



## フォトコンテストには 21 作品の応募

Future Technologies では研究分野の異なる研究者や、MEMS、微細加工等を知らない一般の方が興味を持ちそうな写真を募集し、作品を掲示、表彰することで、研究分野の異なる研究者間交流や、一般の方への広報活動の一環としてフォトコンテストを開催してきました。2025 年は従来のミリ部門（被写体の長辺が 1 mm 以上）・マイクロ部門（被写体の長辺が 100  $\mu\text{m}$  以上、1000  $\mu\text{m}$  未満）・ナノ部門（被写体の長辺が 100  $\mu\text{m}$  未満）のスケールごとの 3 部門および高校生部門で作品を募集し、全 21 作品のご応募を頂きました。厳正なる審査を経て、各部門の最優秀賞、優秀賞、そして参加者投票による現地投票部門最多得票賞が決定しました。閉会式で、授与式が行われました。

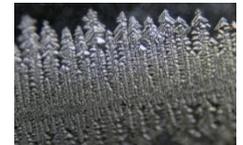
高校生部門では、栃木県立鹿沼商工高等学校、栃木県立鹿沼東高等学校からの応募があり、閉会式の表彰式にも参加を頂きました。若い世代が FT の技術に興味を持って頂けることが何よりも嬉しいです。

## Future Technologies from UTSUNOMIYA フォトコンテスト受賞者

### ・高校生部門(事前審査)

特別賞：「僕が見つめる未来」 福井 心寧（栃木県立鹿沼商工高等学校）

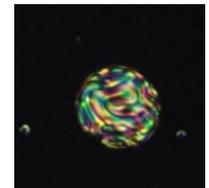
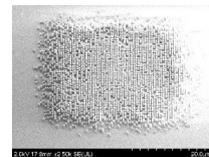
特別賞：「霧氷」 中野 優美（栃木県立鹿沼東高等学校）



### ・ナノ部門(事前審査)

最優秀賞：「朝礼、始まるってよ。」 河井 哲子（東京大学）

優秀賞：「ナノ宇宙の惑星と衛星」 坊野 慎治（立命館大学）



### ・マイクロ部門(事前審査)

最優秀賞：「葉っぱ」 田上 竜也（山形大学）

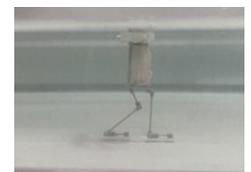
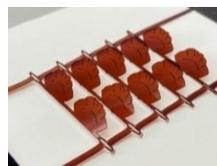
優秀賞：「ミクロの導火線」 小林 雅史（早稲田大学）



### ・ミリ部門(事前審査)

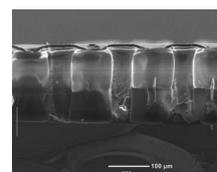
最優秀賞：「Gyoza-inspired Kirigami」 杉原 大樹（早稲田大学）

優秀賞：「培養した筋肉で動かすロボット」 大場 翔太（東京大学）



### ・現地最多得票賞

「マイクロ歯」 寒川 雅之（新潟大学）



応募作品は下記にてご覧いただけます。

<https://sensorsymposium.org/photocon-pic/>

## テクニカルツアー

大会 4 日目の 11 月 13 日に開催されたテクニカルツアーでは、日ごろ簡単には訪問ができない企業や機関からの厚いご協力により、見学を行いました。

**本田技研工業（栃木）：**自動運転や IoT 分野で需要が高まっている最先端センサ技術の理解促進を図ります。約 2 時間近く、実際のドライビングシミュレータの体験とともに、ご担当の方の説明や質疑応答で理解と興味を深めて頂きました。



**宇都宮 LRT（ライト・レール・トランジット）車両基地：**次世代型路面電車「宇都宮ライトレール」の保守・点検を行う車両基地

**キヤノンメディカルシステムズ：**医療用機器（X 線診断システム、CT システム、MRI システム、超音波診断システム、放射線治療装置、核医学診断システム、検体検査システム、ヘルスケア IT ソリューション など）の開発、製造を行っている工場。



受入体制から募集人員にも制限がありましたが、2 グループ総勢 35 名の参加者からは、「リアルなシミュレータに大変驚いた。技術開発の過程が理解でき大変参考になった。大掛かりな装置を使った G の再現などを拝見し、シミュレータでの検証でここまでやるのか、という本気度を知ることができました」（本田技研工業）、「機械による自動化と熟練技術者による手作業が高度に両立されており、その結果として非常に高い技術力が支えられているということを理解することができました。」（キヤノンメディカルシステムズ）、「電車内で構造や設計についての説明を聞き、体験出来たことは貴重な経験になりました。技術的な内容に加えて、鉄道事業、社会インフラとしての視点から LRT を考え、どうして成功しているのか考える機会になりました」（宇都宮 LRT 車両基地）との感想が寄せられました。

## 第42回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム表彰論文

本シンポジウムに設置された、表彰選考委員会による厳正な審査の結果、以下の発表が受賞されました。若手賞（五十嵐賞と奨励賞）はファイナリストとして16件が選出され、最終ノミネート論文は8件、そのうち1件に五十嵐賞、7件に奨励賞が授与されました。優秀技術論文賞はファイナリストとして6件が選出され、最終ノミネート論文が5件、そのうち1件に最優秀技術論文賞、4件に優秀技術論文賞が授与されました。五十嵐賞および奨励賞は若手研究者個人に対する表彰となります。

優秀ポスター発表賞は、開会式で紹介のあった最終ノミネート論文16件から7件が受賞、また同じく最終ノミネート論文12件から4件が受賞されました。

最終日の閉会式で授与式がありました。受賞者の皆さま、おめでとうございます！

**五十嵐賞・奨励賞** 若手研究者個人（シンポジウム開催前年の12月31日時点で35歳以下、発表申込時点で電気学会会員）を対象。授賞の対象は発表者個人。過去の五十嵐賞受賞者は、五十嵐賞の対象にはならない。

**最優秀技術論文賞・優秀技術論文賞** 発表者がシンポジウム開催前年の12月31日時点で36歳以上、発表申込時点で電気学会会員）を対象。授賞の対象は発表論文で連名著者全員。

**優秀ポスター発表賞** 発表申込時点で電気学会会員を対象。授賞の対象はポスター発表であり、連名著者全員。

**速報ポスター賞** 発表申込時点で電気学会会員を対象。授賞の対象はポスター発表であり、連名著者全員。

### ★ 五十嵐賞，奨励賞



#### 五十嵐賞・奨励賞受賞式

五十嵐賞・奨励賞受賞者  
電気学会 E 部門長 小西 聡氏  
センサシンポジウム実行委員長  
年吉 洋氏  
センサシンポジウム実行委員会幹事  
三田 吉郎氏  
センサシンポジウム論文委員長  
戸田 雅也氏

#### ★ 五十嵐賞

10P2-M-5 「低侵襲ニューロン計測に向けたフレキシブル基板直径 5  $\mu\text{m}$  ニードル電極デバイス」  
豊橋技術科学大学 佐々木 陽向

#### ★ 奨励賞

10A3-M-2 「電気計測・薬液投与・光学刺激機能を備えた極微細 Pt/Parylene マイクロチューブの実装とマウス脳計測評価」  
豊橋技術科学大学 Rexy Alvian Nerchan

★ 奨励賞 (続き)

- 10A3-M-4 「PDMS をダンピング層に用いた圧電 MEMS スピーカの全高調波歪の低減」  
東北大学 王 旭晨
- 10P2-M-2 「ツェナー降伏特性を利用した微小歪センサの基本特性」  
東北大学 ベルガラ アンドレア
- 10P2-M-4 「メタマテリアル発電フレキシブル基板を用いた自己起動型ワイヤレスセンサ」  
群馬大学 吉原 凜
- 10P2-M-6 「A Fluidic Proximal Tubule-on-Chip from Patient-Derived iPSCs to Model Ion Transport Phenotypes in ADPKD」  
京都大学 馬 成
- 10P3-C-1 「支持膜フリー転写によるひずみ印加グラフェン共振器の作製」  
豊橋技術科学大学 米村 陸弥
- 10P3-C-4 「極低電力な指輪型無線マウス」  
東京大学 高橋 亮

★五十嵐賞・奨励賞ファイナリスト

- 10A3-M-1 「37CMOS チップ/259 電極を用いた人工視覚デバイス並列刺激動作の実証」  
奈良先端科学技術大学院大学 中西 優輝
- 10P2-M-3 「多点検知とデータ輻輳の抑制を両立する PID 式データ量制御機能をともなったイベントドリブン型センシングシステム」  
名城大学 野間 駿介
- 10P3-C-5 「MEMS 光干渉型表面応力センサによる高感度多項目ガス検出」  
豊橋技術科学大学 権 益賢
- 11A2-C-2 「二次元回折格子を備えた SPR 式光検出器による偏光選択的分光計測」  
電気通信大学 野口 瑛矢
- 11A2-C-3 「土壌反射波を遮蔽する吸収型メタマテリアルによる可逆的土壌水分センシング」  
電気通信大学 能任 史也
- 11A2-C-4 「におい感応膜で生じる電位と容量の変化を同時計測可能な CMOS においセンサの製作と機能検証」  
豊橋技術科学大学 西川 直希
- 11A2-C-5 「Si 微細構造からの脱離ガスによるウェハレベルパッケージング封止圧力への影響」  
東北大学 足立 玖美佳
- 11A2-C-6 「Au-Au 常温接合を可能にする VUV 光を用いた表面活性化条件の検討」  
東北大学 荻野 美佳

★ 最優秀技術論文賞, 優秀技術論文賞



最優秀技術論文賞・優秀技術論文賞受賞式

最優秀技術論文賞・優秀技術論文賞受賞者

電気学会 E 部門長 小西 聡氏

センサシンポジウム実行委員長

年吉 洋氏

センサシンポジウム実行委員会幹事 三田

吉郎氏

センサシンポジウム論文委員長

戸田 雅也氏

★ 最優秀技術論文賞

10P3-C-2 「マイクロ温度センサアレイを用いた細胞小器官の熱物性評価～空間分解能を超えて～」  
東北大学 猪股 直生\*, 鈴木 海斗

★ 優秀技術論文賞

10A3-M-3 「オンチップ血管網の制御に向けた形成過程シミュレーション」  
{1}京都大学, {2}フィジオスバイオテック  
藤本 和也{1}, 亀田 良一{2}, 横川 隆司{1}

10P2-M-1 「ラマン分光 1 分子計測を基盤としたデジタルカウンティング SERS 技術」  
神戸大学 菅野 公二, 土井 崇司, 品部 智哉, 上杉 晃生, 磯野 吉正

10P3-C-3 「MEMS エレクトレット振動発電デバイスを用いた物理リザーバコンピューティング」  
{1}鷺宮製作所, {2}静岡大学, {3}東京大学  
三屋 裕幸{1}, 芦澤 久幸{1}, 森田 将裕{1}, 石黒 巧真{1}, 橋口 原{2}, 年吉 洋{3}

10P3-C-6 「気温サイクルを電力変換する発電素子、及びそれを電源に用いたセンサシステム」  
産業技術総合研究所 末森 浩司, 小松 裕一郎, 駒崎 友亮, 日下 靖之

★優秀技術論文賞ファイナリスト

11A2-C-1 「含浸電解質を用いた Ti 系材料の微細電解エッチング」  
山形大学 峯田 貴

★ 優秀ポスター発表賞



優秀ポスター発表賞受賞式

優秀ポスター発表賞受賞者

電気学会 E 部門長 小西 聡氏

センサシンポジウム実行委員長

年吉 洋氏

センサシンポジウム実行委員会幹事

三田 吉郎氏

★ 優秀ポスター発表賞

10P4-PS-9 「金属樹脂積層型赤外線吸収体とサーモパイルを集積した NDIR 向け赤外線センサ」  
{1}東北大学, {2}山形県工業技術センター  
太田 健太{1}, 鈴木 裕輝夫{1}, 加藤 睦人{2}, 田中 秀治{1}

10P4-PS-13 「ガスフローマイクロチャンバに封止した面内応力検知型ガスセンサ」  
東北大学 堀口 真央, 小野 崇人, 戸田 雅也

10P4-PS-21 「与圧・受圧対向ダブルバルーンによる圧力駆動曲げアクチュエータの大出力化」  
立命館大学 車 正明, 堀 祐登, 原 健成, 小西 聡

10P4-PS-27 「アリの足裏反力分布を測定可能なマイクロフォースプレートアレイ」  
慶應義塾大学 白鳥 俊宏, 高橋 英俊

10P4-PS-35 「蚊触角を用いたヒト関連臭検知センサの小型・可搬化に向けた開発」  
{1}信州大学, {2}千葉大学  
大森 玲奈{1}, 近藤 希栄{1}, 福井 千海{2}, 中田 敏是{2}, 照月 大悟{1}

10P4-PS-45 「神経伝達物質および活動電位を同時計測可能な脳深部刺入型マルチモーダルセンサの開発」  
豊橋技術科学大学 福島 匠悟, 中村 優斗, 木村 安行, 土井 英生, 堀尾 智子, 崔 容俊,  
高橋 一浩, 野田 俊彦, 澤田 和明

10P4-PS-57 「金薄膜転写による金めっき膜平滑化における転写膜厚と転写性」  
{1}東北大学, {2}産業技術総合研究所, {3}関東化学  
小関 奨吾{1}, 後藤 慎太郎{1}, 竹内 魁{1}, Le Hac Huong Thu{2}, 松前 貴司{2}, 高木 秀樹{2},  
倉島 優一{2}, 津田 貴大{3}, 清水 寿和{3}, 徳久 智明{3}, 日暮 栄治{1}

## 優秀ポスター発表賞最終ノミネート論文（受賞以外）

- 10P4-PS-1 「PZT 単結晶薄膜のキュリー一点上昇現象における Si 弾性板厚の影響の調査」  
芝浦工業大学 那知 駿作, 勅使河原 明彦, 吉田 慎哉
- 10P4-PS-3 「グラフェン/銅細線パターン積層によるフレキシブル透明電極の開発と応用」  
立命館大学 黒川 寛也, 辻 淳喜, 村田 順二, 北川 彩貴, 小林 大造
- 10P4-PS-5 「波長選択構造を利用した機械部品からの赤外線放射制御」  
豊田工業大学 足立 容輔, 佐々木 実
- 10P4-PS-11 「バルーンカテーテルを利用した肺内部での経気管支的高精度呼吸計測技術の開発」  
{1}広島市立大学, {2}名古屋大学  
吉田 潤{1}, M. S. Al Farisi{1}, 長谷川 義大{1}, 松島 充代子{2}, 川部 勤{2}, 式田 光宏{1}
- 10P4-PS-19 「深部体温, 心拍数, 発汗量の同時計測を可能とするウェアラブルマルチモーダルセンサプロ  
ープの開発と暑熱環境下での検証」  
東京科学大学 橋本 優生, 能登 公太, 多田 壮翔, 西田 佳史
- 10P4-PS-25 「エレクトロセンサを用いた脈波伝播速度の測定精度向上」  
埼玉大学 木村 祐輝, 蔭山 健介
- 10P4-PS-37 「気体分子を取り込む開放型流路センサの研究」  
埼玉大学 渡辺 斐友, 長谷川 有貴, 内田 秀和
- 10P4-PS-43 「Sensitive Glucose Sensing in Sweat via Microneedle Modified with Graphite Ink and  
Multi-Walled Carbon Nanotube」  
早稲田大学 張 恵子, Ding Ling, 能木 暢, 亀岡 遵
- 10P4-PS-53 「筋骨格系細胞の圧縮応答評価のためのマイクロデバイスの開発」  
熊本大学 竹内 友良, 井手 佑介, 西東 洋一, 中西 義孝, 中島 雄太

## ★ 速報ポスター賞



### 速報ポスター賞受賞式

速報ポスター賞受賞者

電気学会 E 部門長 小西 聡氏

センサシンポジウム実行委員長

年吉 洋氏

センサシンポジウム実行委員会幹事

三田 吉郎氏

- 10P4-PS-75 「標的遺伝子の絶対定量検査を実現するためのデジタル LAMP デバイスの開発」  
{1}豊橋技術科学大学, {2}名古屋大学  
猿渡 健人{1}, 佃 結衣{1}, 夏原 大悟{2}, 岡本 俊哉{1}, 永井 萌土{1}, 柴田 隆行{1}
- 10P4-PS-77 「カーボンフットプリントの直接計測に向けた 集積化 MEMS ガス濃度・フローセンサ」  
東芝 総合研究所 秋元 陽介, 及川 正登, 王 士赫, 濱崎 浩史, 山崎 宏明
- 10P4-PS-104 「スマート農業での緩効性肥料の残量モニタリングに向けた自然分解性ワイヤレスセンサ」  
{1}慶應義塾大学, {2}電気通信大学  
田名網 優{1}, 能任 史也{2}, 菅 哲朗{2}, 尾上 弘晃{1}
- 10P4-PS-105 「転座型腎細胞癌チップの異なる間質状態における血管形成の評価」  
{1}京都大学, {2}がん研究会がん研究所, {3}熊本大学病院, {4}東京医科大学  
北田 敦也{1}, 藤本 和也{1}, 田中 美和{2}, 馬場 理也{3}, 中村 卓郎{4}, 横川 隆司{1}

#### 速報ポスター賞最終ノミネート論文 (受賞以外)

- 10P4-PS-67 「切り紙の変形を用いた 4D プリンティング」  
{1}早稲田大学, {2}シンガポール工科大学  
杉原 大樹{1}, 橋本 道尚{2}, 岩瀬 英治{1}
- 10P4-PS-69 「フレキシブル基板上に製作した切り紙構造を用いた伸縮可能 LIG 脈波センサ」  
慶應義塾大学 大矢 晋太郎, 中島 利八郎, 安藤 竜生, 高橋 英俊
- 10P4-PS-79 「単一マスクを用いたリソグラフィのみで共振周波数を制御する 3D メッシュ圧電 MEMS ハーベスタ」  
{1}群馬大学, {2}静岡大学, {3}東京大学  
森下 浩多{1}, 高田 裕司{1}, 田中 有弥{1}, 橋口 原{2}, 年吉 洋{3}, 鈴木 孝明{1}
- 10P4-PS-85 「MEMS 差圧センサアレイと回帰型ニューラルネットワークによる小型三次元風速ベクトルセンサ」  
慶應義塾大学 安藤 竜生, 高橋 英俊
- 10P4-PS-99 「水晶複素容量センサを用いたアルコール発酵におけるゆらぎと成分の複合的解析」  
新潟大学 鳴原 大輝, 寒川 雅之, 安部 隆
- 10P4-PS-101 「MSS 嗅覚センサ自動測定装置を用いた微生物由来 VOCs の高精度時系列計測」  
{1}栄研化学, {2}物質・材料研究機構  
永田 泰平{1}, 佐藤 正樹{1}, 吉川 元起{2}
- 10P4-PS-103 「脳細胞外ケミカルのマルチイメージングに向けた酵素膜の製作と機能検証」  
豊橋技術科学大学 土井 英生, 崔 容俊, 高橋 一浩, 野田 俊彦, 澤田 和明
- 10P4-PS-107 「3 次元陰窩様凹凸構造とムチン層を有する灌流可能なチューブ状 in vitro 腸上皮組織モデルと細菌の共培養による遺伝子発現変化」  
慶應義塾大学 浦本 翔太, 田中 秀磨, 板井 駿, 尾上 弘晃

最優秀技術展示賞

セイコーエプソン



Future Technologies from UTSUNOMIYA 2025 – Program-At-a-glance –

			M会場	A会場	B会場	C会場	D会場	ポスター/円会場/技術展示会場	
			3F 中ホール	2F 大会議室	1F 小会議室101,102	1F 小会議室103,104	1F 小会議室107,108	1F 大ホール	
1日目 (11/10月)	コード	開始時刻							
		9:30	開場						
	10A1	10:00	開会式						
	10A2	10:30	基調講演 京都大学 原一哉 先生						
		11:10							
	10A3	11:20	センサシンポジウム ファイナリストセッション1	日本機械学会 全国講演	化学とマイクロナノシステム 学会シンポジウム	センサシンポジウム 設計・製作技術-応用	センサシンポジウム マイクロナノシステム	FT会場 ポスターセッション I/II ポスター掲示	技術展示
		12:20							
	10P1	12:30	出席者による 技術展示発表セッション1						
		13:25							
	10P2	13:35	センサシンポジウム ファイナリストセッション2	日本機械学会 国際式-国際講演	化学とマイクロナノシステム学 会	センサシンポジウム 製造-材料-センシング	センサシンポジウム マイクロナノ材料/システム		
		15:05							
	10P3	15:25	化学とマイクロナノシステム学会 フロンティアセッション1	日本機械学会 フロンティアセッション1	応用物理学会 集積化MEMS シンポジウム	センサシンポジウム ファイナリストセッション3	センサシンポジウム バイオ/モカ/RF/センサ		
		16:55							
	10P4	17:05						FT会場 ポスターセッション1	
		18:35							
10P5	18:50				4学会合同 懇話会				
	20:05								
2日目 (11/11水)		8:10							
	11A1	8:30	基調講演 日立ハイテク 堀野 直樹						
		9:10							
	11A2	9:20	日本機械学会 フロンティアセッション2	化学とマイクロナノシステム学会 フロンティアセッション2	センサシンポジウム センサアクチュエータシステム	センサシンポジウム ファイナリストセッション4	センサシンポジウム フイカ/RF/センサ	FT会場 ポスターセッション I/II ポスター掲示	技術展示
		10:50						FT会場 ポスターセッション II	
	11A3	10:55							
		12:25							
	11P1	12:35	出席者による 技術展示発表セッション1						
		14:00							
	11P2	14:10	日本機械学会 フロンティアセッション3	化学とマイクロナノシステム学会 講演会 フロンティアセッション3	応用物理学会 集積化MEMS シンポジウム	センサシンポジウム バイオ/センサ	センサシンポジウム 集積技術-マイクロシステム・ センサ	FT会場 ポスターセッション III/IV ポスター掲示	
		15:40							
	11P3	15:50		基調講演 本田技研工業 永谷 邦彦 氏			講演講演サテライト会場		
		16:30							
	11P4	16:50						FT会場 ポスターセッション III	
		18:20							
11P5	18:40	懇話会							
	20:40								
3日目 (11/12水)		9:00							
	12A1	9:20	基調講演 東北大学 塚本 晋也 先生						
		10:00							
	12A2	10:20	化学とマイクロナノシステム学会 フロンティアセッション4	日本機械学会 フロンティアセッション4	応用物理学会 集積化MEMS シンポジウム	センサシンポジウム ケミカル/バイオシステム	企画セッション 調査専門委員会	FT会場 ポスターセッション III/IV ポスター掲示	技術展示
		11:50							
	12P1	12:00	出席者による 技術展示発表セッション III						
		13:00							
	12P2	13:05						FT会場 ポスターセッション IV	
		14:35							
		14:45	FT会場開場セッション 集積技術大 河野 他生 東北大 堀野 先生 東京理科大学 安井 他生 慶応義塾大 塚本 他生						
	16:05								
	16:10	閉会式							
	17:00								
4日目 (11/13木)	9:00-15:00	テクニカルツアー(本田技研工業,ライトレール基地,キヤノン/メダカ/システムズ(動機予定))							

## 60 機関の技術展出展者が Lab-to-market を披露

**Future Technologies 技術展**には、「Lab to Market (研究から実用化へ)」の技術展示がポスターセッションと同じ会場で開催され、センサ、MEMS デバイス関係およびその応用システム製品、各種設計ツール、製造装置、テスト評価装置、測定機器、実装技術関連、材料技術等、広くシンポジウム参加者に紹介されました。出展者による技術プレゼンテーションは3日間にわたり開催され、40 機関の出展者によるフラッシュプレゼンテーションがあり、各出展ブースで技術意見交換の時間を持って頂きました。技術展示 63 小間にご出展頂きました 60 の企業・機関様、スポンサーを賜りました 9 社様に、謹んで御礼申し上げます。



## Future Technologies from UTSUNOMIYA 技術展出展者およびスポンサー機関リスト (社名五十音順)

- |                          |                                    |
|--------------------------|------------------------------------|
| 株式会社アイカス・ラボ              | 東京大学 マテリアル先端リサーチインフラ・データハブ         |
| 旭化成株式会社                  | 拠点 ~半導体基盤プラットフォーム (SETI)~ (東京大     |
| A S T I 株式会社             | 学・広島大学・日本原子力研究開発機構・豊橋技術科学          |
| イムラ・ジャパン株式会社             | 大学)                                |
| エーエスエムエル・ジャパン株式会社        | 東京マテリアルサービス株式会社                    |
| AMX 株式会社                 | 東芝グループ                             |
| 株式会社エス・イー・アール            | 東北大学マイクロシステム融合研究開発センター             |
| NTT アドバンステクノロジー株式会社      | 東北大学大学院工学研究科附属マイクロ・ナノマシン           |
| MMI セミコンダクター株式会社         | ング研究教育センター                         |
| MDPI                     | 株式会社豊田中央研究所                        |
| 大塚電子株式会社                 | 豊橋技術科学大学 次世代半導体・センサ科学研究所           |
| 株式会社オンチップ・バイオテクノロジーズ     | 日本化薬株式会社                           |
| 関東学院大学 材料・表面工学研究所        | 日本カンタム・デザイン株式会社                    |
| 九州工業大学 マイクロ化総合技術センター     | 日本ゼオン株式会社                          |
| 株式会社協同インターナショナル          | 日本電子株式会社                           |
| 計測エンジニアリングシステム株式会社       | ネオアーク株式会社                          |
| 研究サポート人材バンク株式会社          | ハイソル株式会社                           |
| サムコ株式会社                  | ハイデルベルグ・インストルメンツ株式会社               |
| 産業技術総合研究所 新世代ハイブリッドパッケージ | パルステック工業株式会社                       |
| ング拠点                     | 兵庫県立大学半導体デバイス・プロセス開発支援センター         |
| JSR 株式会社                 | 株式会社フォトロン                          |
| ジオマテック株式会社               | 株式会社ベテル                            |
| 神港精機株式会社                 | ポリテックジャパン株式会社                      |
| 株式会社新興精機                 | 株式会社 本田技術研究所                       |
| 住友精密工業株式会社               | 株式会社マイクロサポート                       |
| セイコーエプソン株式会社             | 一般財団法人マイクロマシンセンター                  |
| セーレンアドバンストマテリアルズ株式会社     | 株式会社マクニカ                           |
| 株式会社セントラル科学貿易            | 文部科学省 マテリアル先端リサーチインフラ (ARIM Japan) |
| ソマール株式会社                 | 株式会社マトリクスーム                        |
| 株式会社大興製作所                | 水戸工業株式会社                           |
| 株式会社ティ・ディ・シー             | 株式会社 ミライズテクノロジーズ                   |
| テクノプリント株式会社              | メディアシステムズ株式会社                      |
| 公益財団法人 電磁材料研究所           | ヤマト科学株式会社                          |
| 株式会社 デンソー                | 株式会社山本鍍金試験器                        |
| 東京応化工業株式会社               | 良渚ラボラトリー                           |
|                          | 株式会社レゾナック                          |
|                          | ローム株式会社                            |

**Future Technologies (FT)2025 委員・第 42 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム実行委員・論文委員の皆さまのご指導に心から御礼申し上げます**

Future Technologies from UTSUNOMIYA 及び第 42 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムの企画・運営を遂行された、実行委員、論文委員の皆様です。会場にてご参加を頂きました一部の委員の写真となりましたが掲載いたします。(会期 2 日目に撮影、写真提供：群馬大学 鈴木孝明先生研究室 大熊 皐月様)



開会式，閉会式，懇親会，  
名司会をされた  
三田 吉郎幹事（東京大学）



センサシンポジウムをはじめ  
FTプログラムを取りまとめられた  
戸田 雅也論文委員長（東北大学）

ご諮問を頂いた、実行委員会、論文委員会、FT の実行メンバーの皆さまに感謝申し上げます。

## Future Technologies from UTSUNOMIYA 2025 Committees

### 第 42 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム実行委員会（敬称略）

実行委員長	年吉 洋	東京大学	フォトコン副担当	田中 大器	早稲田大学
実行副委員長	宮島 博志	住友精密工業	若手企画主担当	佐藤 峻	産業技術総合研究所
幹事	三田 吉郎	東京大学	若手企画副担当	橋本 将明	慶應義塾大学
副幹事	松永 忠雄	鳥取大学	顧問(SS40 実行委員長)	澤田 和明	豊橋技術科学大学
論文委員長	戸田 雅也	東北大学	顧問(SS41 実行委員長)	日暮 栄治	東北大学
論文副委員長	永井 萌土	豊橋技術科学大学	日本機械学会マイクロ・ナノ工学シンポジウム実行委員長	鈴木 宏明	中央大学
論文副委員長	二川 雅登	静岡大学	日本機械学会マイクロ・ナノ工学シンポジウムプログラム委員長	土井 謙太郎	豊橋技術科学大学
論文委員会オブザーバー	松永 忠雄	鳥取大学	応用物理学会 集積化 MEMS シンポジウム実行委員長	町田 俊太郎	KOKUSAI ELECTRIC
財務委員長	山田 駿介	九州工業大学	応用物理学会 集積化 MEMS シンポジウム実行副委員長	高橋 一浩	豊橋技術科学大学
財務副委員長	本間 浩章	神戸大学	化学とマイクロ・ナノシステム CHEMINAS 52 実行委員長	瀧ノ上正浩	東京科学大学
財務補佐	岡本 有貴	産業技術総合研究所	化学とマイクロ・ナノシステム 会長	竹内 昌治	東京大学
会場委員長	鈴木 孝明	群馬大学	エレクトロニクス実装学会企画セッション担当	野村 健一	産業技術総合研究所
企業展示主担当	鈴納 一彦	デンソー			
企業展示副担当	内貴 崇	ローム			
企業展示副担当	橋本 英生	住友精密工業			
広報委員長	後藤 正英	NHK 放送技術研究所			
広報副委員長	松倉 悠	電気通信大学			
テクニカルツアー主担当	菅野 公二	神戸大学			
テクニカルツアー副担当	栗岡 智行	東京科学大学			
フォトコン主担当	笠原 崇史	法政大学			

### 第 42 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム論文委員会（敬称略）

論文委員長	戸田 雅也	東北大学	塚本 貴城	東北大学
論文副委員長	永井 萌土	豊橋技術科学大学	年吉 洋	東京大学
論文副委員長	二川 雅登	静岡大学	樋口 徹	ローム
論文オブザーバー	松永 忠雄	鳥取大学	肥後 昭男	東京大学
			藤澤 大介	マイクロマシンセンター /三菱電機

#### 分野 1 設計・製作技術, 材料

主査	本間 浩章	神戸大学
副査	溝尻 瑞枝	長岡技術科学大学
	Andrea Vergara	東北大学
	明石 照久	豊田中央研究所
	安藤 妙子	立命館大学
	磯崎 瑛宏	立命館大学
	伊藤 寿浩	東京大学
	岩見 健太郎	東京農工大学
	笠井 隆	三井化学株式会社
	菅 哲朗	電気通信大学
	小林 大造	立命館大学
	佐々木 実	豊田工業大学
	式田 光宏	広島市立大学
	菅野 公二	神戸大学
	鈴木 裕輝夫	東北大学
	寺尾 京平	香川大学
	生津 資大	京都先端科学大学
	平井 義和	京都大学

#### 分野 2 マイクロナノシステム

主査	岡本 有貴	産業技術総合研究所
副査	後藤 正英	NHK 放送技術研究所
	市川 健太	東京科学大学
	猪股 直生	東北大学
	金子 美泉	日本大学
	齊藤 健	日本大学
	佐々木 敬	Silicon Austria Labs
	高橋 一浩	豊橋技術科学大学
	田中 秀治	東北大学

#### 分野 3 センサ・アクチュエータシステム

主査	畑 良幸	名城大学
副査	室山 真徳	東北工業大学
	荒木 望	兵庫県立大学
	和泉 慎太郎	神戸大学
	木内 万里夫	住友精密工業
	小西 聡	立命館大学
	才木 常正	福知山公立大学
	櫻井 淳平	名古屋大学
	佐藤 弘人	NHK 放送技術研究所
	島内 岳明	富士通
	高尾 英邦	香川大学
	高松 誠一	ニューヨーク州立大学
	土屋 智由	京都大学
	橋口 原	静岡大学
	原田 知親	山形大学
	ティクシエ	三田 アニエス 東京大学
	吉田 慎哉	芝浦工業大学

分野 4 フィジカルセンサ

主査	原 基揚	情報通信研究機構
副査	笠原 崇史	法政大学
	荒川 貴博	東京工科大学
	池沢 聡	早稲田大学
	岡谷 泰佑	東北大学
	蔭山 健介	埼玉大学
	神田 健介	兵庫県立大学
	柴崎 一郎	野口研究所
	寒川 雅之	新潟大学
	高橋 英俊	慶應義塾大学
	竹井 裕介	産業技術総合研究所
	竹下 俊弘	産業技術総合研究所
	中澤 寛一	ミライズテクノロジーズ
	野田 堅太郎	富山県立大学
	戸 修一郎	東北学院大学
	橋本 和彦	近畿大学
	山下 馨	京都工芸繊維大学

分野 5 ケミカルセンサ

主査	巫 霄	福岡工業大学
副査	飯谷 健太	東京科学大学
	青野 宇紀	日立製作所
	安藤 毅	千葉工業大学
	石田 寛	東京農工大学
	稲波 久雄	日立製作所
	小野寺 武	九州大学
	祐川 侑司	東京大学
	竹井 義法	金沢工業大学
	田原 祐助	信州大学
	南保 英孝	金沢大学
	長谷川 有貴	埼玉大学
	林 健司	九州大学
	春田 牧人	千歳科学技術大学
	廣田 正樹	九州大学
	松倉 悠	電気通信大学
	松本 裕之	ミライト・ワン
	山口 富治	東京電機大学

分野 6 バイオセンサ

主査	工藤 寛之	明治大学
副査	鶴岡 典子	東北大学
	遠藤 達郎	大阪公立大学
	高村 禪	北陸先端科学技術大学院大学
	田畑 美幸	東京農工大学

同時開催シンポジウム幹事委員

第 17 回集積化 MEMS シンポジウム実行委員会 (敬称略)

実行委員長	町田 俊太郎	KOKUSAI ELECTRIC
実行副委員長	高橋 一浩	豊橋技術科学大学

第 16 回マイクロ・ナノ工学シンポジウム実行委員会 (敬称略)

実行委員長	鈴木 宏明	中央大学
プログラム委員長	土井 謙太郎	豊橋技術科学大学

CHEMINAS 52 実行委員会 (敬称略)

実行委員長	瀧ノ上正浩	東京科学大学
会長	竹内 昌治	東京大学

崔 容俊	豊橋技術科学大学
中野 道彦	九州大学
野田 俊彦	豊橋技術科学大学
三澤 宣雄	麻布大学
光野 秀文	東京大学
村上 裕二	静岡理工科大学
山村 昌平	産業技術総合研究所

分野 7 バイオマイクロナノシステム

主査	森本 雄矢	早稲田大学
副査	吉田 昭太郎	中央大学
	石田 忠	東京科学大学
	浮田 芳昭	山梨大学
	尾上 弘晃	慶應義塾大学
	木村 啓志	東海大学
	久米村 百子	九州工業大学
	笹川 清隆	奈良先端科学技術大学院大学
	鈴木 孝明	群馬大学
	中島 雄太	熊本大学
	長谷川 義大	広島市立大学
	肥田 博隆	神戸大学
	氷室 貴大	呉高等専門学校
	藤本 和也	京都大学
	松本 壮平	産業技術総合研究所
	安田 隆	九州工業大学
	山本 貴富喜	東京科学大学
	横川 隆司	京都大学

分野 8 エレクトロニクス実装学会連携

主査	野村 健一	産業技術総合研究所
副査	山本 道貴	東京大学
	石河 範明	富士電機
	倉島 優一	産業技術総合研究所
	小林 健	産業技術総合研究所
	五明 智夫	愛知時計電機
	高木 秀樹	産業技術総合研究所
	多喜川 良	九州大学
	野上 大史	崇城大学
	日暮 栄治	東北大学
	三井 亮介	日本航空電子工業
	村上 直	九州工業大学
	村松 駿	東京大学
	魯 健	産業技術総合研究所

## 第 42 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム

### パートナーシンポジウムの実行委員長



第 16 回マイクロ・  
ナノ工学シンポジウム  
実行委員長  
鈴木 宏明氏  
(中央大学)



第 17 回集積化 MEMS  
シンポジウム  
実行委員長  
町田 俊太郎 氏  
(KOKUSAI ELECTRIC)



化学とマイクロ・  
ナノシステム学会  
第 52 回研究会  
実行委員長  
瀧ノ上 正浩氏  
(東京科学大学)

そして、大会運営を支えて頂きました、会場委員長の群馬大学 鈴木孝明先生および研究室の学生の皆さまに心から御礼申し上げます。



[Future Technologies from UTSUNOMIYA のプログラムハンドアウトはこちらから](#)

## 2026年 センサシンポジウムは松江で開催されます

次回は2026年11月16日（月）～19日（木）、くにびきメッセ（島根県松江市）にて開催されます。閉会式では、次期実行委員長の宮島 博志氏（住友精密工業）からSS43の紹介のビデオメッセージを頂き、実行委員長が年吉氏から宮島氏にバトンタッチされました。

# 2026年11月 松江でお会いしましょう！



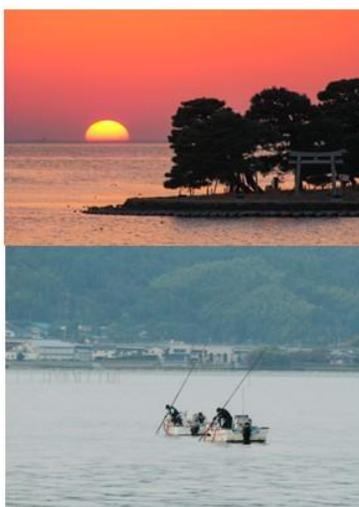
第43回センサシンポジウム  
実行委員長  
宮島 博志 氏  
(住友精密工業)

## Future Technologies from MATSUE

第43回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム  
第17回マイクロ・ナノ工学シンポジウム  
第17回集積化MEMSシンポジウム  
化学とマイクロ・ナノシステム学会 第54回研究会

2026年11月16日（月）～19日（木）

11月16～18日テクニカルセッション 11月19日 テクニカルツアー  
くにびきメッセ（島根県立産業交流会館）



宍道湖の夕日とシジミ漁



国宝松江城と松江堀川遊覧船